

年月日	24	06	06	ページ	21	NO.	
-----	----	----	----	-----	----	-----	--

S M F L、栗田工業と提携

紙おむつ分別処理普及

三井住友ファイナンス&リース（SMFL）と同社子会社のSMFLみらいパートナーズ（東京都千代田区）は5日、栗田工業と使用済み紙おむつ分別処理装置の普及を目的に業務提携したと発表した。同装置の普及を通じ、使用済み紙おむつの焼却処分に伴う二酸化炭素（CO₂）排出量の削減、廃棄物の再資源化につなげる。互いの顧客ネットワークを生かして、同

装置を廃棄物処理業者や地方自治体に販売する。SMFLが強みとするファイナンス機能も生かす。

（経済）システムの構築、事業化を目指しており、今回の提携は戦略の一環。

3社が普及を目指す装置は「クリタサムズシステム」。栗田工業が2023年11月に事業展開を始めた。従来、焼却処分していた使用済み紙おむつを殺菌、洗浄、分解し、プラスチック類とパルプ類を含む処理水に分別する。

SMFLはサーキュラーエコノミー（循環